



広報

りしり

No.546
2025.12



仙法志保育所



沓形保育所

令和7年度 利尻町表彰式



令和7年度利尻町表彰式は、11月3日利尻町役場で開催され、町議会議員並びに関係者が出席し、利尻町の振興発展に貢献していただいた方々をたたえ行われました。本年は3名の方々が受賞されました。

町長から受賞者皆様のご功績等の紹介と受賞者へのお祝いの言葉があり、受賞者を代表して柴田諭様がお礼の言葉を述べられました。

功 勞 表 彰 者



柴田 諭氏

利尻町杓形字日出町

永年にわたり、日出町第二自治会長として、本町の町内自治会の運営に尽力するなど地方自治の振興発展に寄与されました。



谷 智 晴氏

利尻町杓形字本町

永年にわたり、利尻町港湾漁港審議会委員として産業基盤の整備と本町の産業振興に寄与されました。

善 行 表 彰 者



難波 克 子氏

利尻町杓形字泉町

永年にわたり、利尻町民生児童委員として、本町の社会福祉の向上に寄与されました。



北海道町村教育委員会連合会 功 勞 者 表 彰

永年にわたり、利尻町教育委員会委員として、教育の発展と充実に尽力され、北海道教育の振興に貢献された功績が認められ、北海道町村教育委員会連合会長より表彰されました。



利尻町沓形字日出町
糀屋佳郎氏



利尻町仙法志字政泊
宮下敏氏

利尻町交通安全大会が開催されました

令和7年10月16日(木) 交流促進施設どんとにおいて「利尻町交通安全大会」が開催されました。

大会では、稚内警察署高木交通課長から、道内で起きた事故の原因や冬道の事故をどう防ぐかのお話を頂き、交通安全をあらためて考える機会となりました。

また、大会関連事業として、町内小学校5・6年生と中学生から募集した交通安全標語の優秀作品に対し、小学生の部と中学生の部から各1名の方を表彰させていただきました。

大会最後には、出席者代表の利尻漁業協同組合沓形支所 濱口夏恋さんの「交通安全宣言」で大会を締めくくりました。



【小学生の部】沓形小学校5年生 吉田 清人さん
「信号は みんなの生活 見守り隊」

【中学生の部】利尻中学校1年生 坂東 愛望さん
「運転は いつも優しい 思いやり」

交通事故死ゼロ 1,000日(令和8年10月13日達成)を目標に
交通安全運動を展開中です。
町民皆様のご協力をお願いいたします。

令和7年 第3回町議会定例会

第3回町議会定例会は9月16日に招集され、条例の改正案、補正予算案等を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。審議内容の主なものは次のとおりです。

【条例改正】

◆利尻町議会議員及び利尻町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

本条例は、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部が改正されたことに伴い、選挙運動用はがきや看板、ポスター等の作成など、選挙公営に要する経費の限度額が引き上げられることから、本町においても国に準じた取扱いとするために、条例を改正するものです。

◆利尻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

本条例は、地方公務員育児休業法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、職員が育児休業の取得や仕事と育児の両立支援制度を円滑に活用することができるようにするための環境整備が義務付けられたことから、条例を改正するものです。

◆利尻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

本条例は、地方公務員育児休業法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、育児休業における部分休業を柔軟に取得できるようにするため、新たな取得形態を新設するほか、非常勤職員の部分休業の取得における子の対象年齢の拡大などの見直しが行われたことから、条例を改正するものです。

◆利尻町保養施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

本条例は、足湯施設を撤去したことから、足湯施設に関する規定を削除するために、条例を改正するものです。

【補正予算】

◆令和7年度利尻町一般会計補正予算(第3号)

本予算は、歳入歳出それぞれに4900万8千円を

追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ45億7835万2千円にするものです。歳出の主な内容は次のとおりです。

○ふれあい保養センター管理運営事業 1000万円

○小規模治山事業 317万円

○道路維持事業 1803万5千円

◆令和7年度利尻町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

本予算は、歳入歳出それぞれに99万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億7255万7千円にするものです。歳出の内容は次のとおりです。

○保険税還付金 30万円

○その他償還金 69万8千円

【事件案】

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

について

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

本件は、それぞれの当該規約の変更が必要となったことから、地方自治法の規定に基づき、当該組合を構成する団体の議会の議決を求めるものです。

◆宗谷公平委員会の共同設置に関する規約の変更について

本件は、当該規約の変更が必要となったことから、地方自治法の規定に基づき、当該委員会を共同設置する団体の議会の議決を求めるものです。



令和6年度公営企業会計決算の認定

7月24日に令和6年度利尻町公営企業会計の決算審査が行われ、第3回町議会定例会において、監査委員からの意見書を添付し審議され、原案のとおり認定されました。

各会計の決算の内訳は次のとおりです。

簡易水道事業会計

◎収益的収入及び支出

収入	区分	予算額	決算額	増減
	事業収益	1億3,942万4,000円	1億3,655万1,419円	△ 287万2,581円
営業収益	5,833万2,000円	6,175万4,572円	342万2,572円	
営業外収益	7,407万9,000円	6,768万 387円	△ 639万8,613円	
特別利益	701万3,000円	711万6,460円	10万3,460円	
支出	区分	予算額	決算額	不用額
	事業費	1億3,942万4,000円	1億3,617万 755円	325万3,245円
	営業費用	1億2,894万5,157円	1億2,569万1,912円	325万3,245円
	営業外費用	879万5,617円	879万5,617円	0円
	特別損失	168万3,226円	168万3,226円	0円
予備費	0円	0円	0円	

下水道事業会計

◎収益的収入及び支出

収入	区分	予算額	決算額	増減
	事業収益	2億3,767万5,000円	2億3,667万4,877円	△ 100万 123円
	営業収益	4,426万9,000円	4,357万4,261円	△ 69万4,739円
	営業外収益	1億9,340万6,000円	1億9,302万9,616円	△ 37万6,384円
特別利益	0円	7万1,000円	7万1,000円	
支出	区分	予算額	決算額	不用額
	事業費	2億3,767万5,000円	2億3,632万 909円	135万4,091円
	営業費用	2億1,348万5,236円	2億1,249万1,420円	99万3,816円
	営業外費用	2,231万4,764円	2,231万4,764円	0円
	特別損失	187万5,000円	151万4,725円	36万 275円
予備費	0円	0円	0円	

砕石事業会計

◎収益的収入及び支出

収入	区分	予算額	決算額	増減
	事業収益	2億5,168万1,000円	1億9,757万7,096円	△ 5,410万3,904円
	営業収益	1億8,398万6,000円	1億2,838万5,498円	△ 5,560万 502円
	営業外収益	2,819万5,000円	3,044万1,598円	224万6,598円
繰越製品	3,950万円	3,875万円	△ 75万円	
支出	区分	予算額	決算額	不用額
	事業費	2億5,168万1,000円	1億9,743万9,435円	5,424万1,565円
	営業費用	2億4,459万1,000円	1億9,059万3,419円	5,399万7,581円
	営業外費用	684万6,016円	684万6,016円	0円
予備費	24万3,984円	0円	24万3,984円	

令和6年度 各会計歳入歳出決算を認定

8月20日から22日までの間で令和6年度利尻町各会計の決算審査が行われ、第3回町議会定例会で決算審査特別委員会に付託し、すべて認定されました。各会計の決算の内訳は次のとおりです。

区 分	収 入 額	支 出 額	差 引 額
一 般 会 計	54億2,901万4,074円	54億51万7,849円	2,849万6,225円
国民健康保険事業特別会計	2億6,538万5,846円	2億4,655万1,069円	1,883万4,777円
後期高齢者医療特別会計	5,986万7,780円	5,886万9,582円	99万8,198円
介護保険特別会計	2億7,763万3,264円	2億6,503万9,825円	1,259万3,439円
し尿前処理事業特別会計	2,580万1,987円	2,580万1,987円	0円
港湾事業特別会計	1,057万8,412円	1,043万8,476円	13万9,936円
特別養護老人ホーム特別会計	2億6,017万 174円	2億5,990万7,037円	26万3,137円
宿泊施設特別会計	2億7,073万6,180円	2億6,718万3,734円	355万2,446円
合 計	65億9,918万7,717円	65億3,430万9,559円	6,487万8,158円

令和6年度 決算に基づく健全化判断比率 及び公営企業会計に係る資金不足比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、地方公共団体の財政の健全性に関する指標の公表制度を設け、その比率に応じて財政の早期健全化と財政の再生、また公営企業の経営の健全化を図るための行政上の措置を講ずることによって、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的としています。この法律の規定により令和6年度決算に基づく利尻町の健全化判断比率及び資金不足比率について次のとおり報告がありました。

1. 健全化判断比率

区 分	健 全 化 判断比率	早期健全化 基 準	財政再生 基 準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	14.1	25.0	35.0
将来負担比率	81.8	350.0	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率がゼロ又はマイナスの場合「—」表示となります。

※健全化判断比率のうち、ひとつでも早期健全化基準以上となった場合、財政健全化計画を策定し財政の健全化を図ることになりますが、令和6年度決算では全ての比率が基準を下回っています。

2. 公営企業の資金不足比率

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道特別会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0
砕石事業会計	—	20.0
宿泊施設特別会計	—	20.0
港湾事業特別会計	—	20.0

※資金不足比率は、資金不足額がゼロ又はマイナスの場合「—」表示となります。

※資金不足比率が経営健全化基準以上となった公営企業会計は、経営健全化計画を定め、経営の健全化を図ることになりますが、全公営企業会計で資金不足額がないため、比率の算定はありません。



佐藤和久 議員

町財政の状況と今後の見通しについて

佐藤議員 上遠野町政の2期目を迎え、前回の6月定例町議会

で述べられていた所信表明の中で、町長が予想していた以上に財政状況の悪化が進んでいるとのことでありましたが、悪化が進んだ具体的な要因とその改善に向けた対応策をどのようにお考えでいるのか、また、今後の財政状況の見通しをどのように見込んでいるのか、町長のお考えをお伺いいたします。

上遠野町長 私が町長に就任してから2期目をスタートし



上遠野浩志 町長

ております。この間、限りある予算の範囲で、既に計画されていきました沓形小学校校舎等の改築工事をはじめ、継続して行われてきた沓形港の整備や体育館等の補修、施設各所の修繕等を執行し、さらに、町の活性化や観光客の受け入れ等に係る森林公園の整備計画や沓形歯科診療所の再開、EV充電施設の整備やホテル利尻を通年営業にするなどの施策も講じてまいりました。

また、町民の生活面の観点では、国や北海道など関係機関の補助金等を活用させていただきながら、生活基盤であるインフラの整備をはじめ、各種支援の継続や景気対策にも取り組んできました。

一方で、財源については、貴重な自主財源となる町税では、歳入の構成比としては4

パーセントほどであり、地方交付税や関係機関の補助金、必要に応じてふるさと納税を中心とした基金の繰入により、収支の均衡を図ってきた状況です。

質問の財政悪化となる具体的な要因ですが、今年度は本町の総合振興計画10ヶ年の後期3ヶ年と、まち・ひと・しごと創生総合戦略の更新期であり、現在、これら計画の内容を確認に向けた準備を進めているところですが、各種統計資料により算出した関係資料では、町民一人当たりの行政コストを本町の類似団体と比較したとき、本町の行政コストは類似団体より高いことが示されており、このことは裏を返すと、それだけ手厚い行政サービスを展開してきたことにはなりますが、財政面を考慮すると、今すぐにもこの状況を見直す必要がある状況であり、また、歳入の構成比においては、特養や宿泊施設など特別会計への繰出金や一部事務組合への負担金も大きくなっていることは確かであり、特に国保病院への負担金は、一時コロナ禍による国

等の支援により、負担額は減少してはいたりましたが、今年度の病院組合予算では、3億9千万円ほどの医療外収益を見込んで予算編成している状況で、加えて、今年度は利尻富士町と病院組合負担金の負担割合の見直しについて協議を続けているところですが、未だ結論には至っていない状況です。

一方、基金の状況は、宗谷管内においても、本町は非常に低い水準で、基金残高も年々減少の傾向にあります。

近年は、資材費や建築費等の高騰による工事費の高騰が、沓形小学校の改築や体育館等の大型修繕、また昨年度から集中的に発生している備品や設備の故障などによる修繕費等に影響し、財政的に大きな負担増を強いられており、物価高騰や近年の働き方改革に関連した人件費の増加も考慮した時、このままでは、近い将来には基金が底をつくおそれがあり、来年、再来年と近い将来を見据えると、今後は相当の英断をもって歳入の削減に取り組んでいかなければならない状況であると考えています。

このような状況から、予定する沓形中心市街地の整備計画は、将来に禍根を残さないような計画づくりをしていきたいと思っており、これまでの町の単独事業については、見直さざるを得ない状況であると考えていますので、各種計画の更新と合わせながら、事業の優先順位、施設の計画的な整備、修繕等を判断し、今後の町の道筋を見極めていかなければならないと考えております。

佐藤議員 町長の認識については理解しました。数値的には、今すぐにも見直しが必須ということでした。病院組合の負担金については、島内の病院でありますので、均衡のとれた費用負担のあり方について、利尻富士町との協議を進めていただきたいと思います。

町財政に関する質問は、町長が1期目の最初の定例会でも私から質問させていただいており、令和3年8月号の広報りしりにもその内容は記載されていますが、その時私は、

事業の見直しについての必要性を質問していましたが、町長は答弁の最後に、一つ一つ検討して健全財政に努めると仰っていました。それは、事業の見直しを進めていくということである、私は認識していました。またその時は、病院や特養、希望をはじめとする福祉施設、保育所等の医療福祉体制への見直しについても触れております。

現在、島内の人口は4千人を切っています。町長もご存じのとおり、隣町の利尻富士町にも医療機関や特養などの施設が存在しています。人口減少に歯止めがかからない状況の中、当然利用者の取り合いなどの形が生まれ、すでに始まっていると思っております。特に病院に関してですが、とある離島の病院の話をしなすと、予算規模だけの話ですが、人口4千人規模で、5億円ぐらいで病院を運営しているところもあります。現在の病院組合の予算規模は9億円あまりです。また、利尻島内には道立診療所、利尻富士町の鷺泊診療所もあります。そうなれば、当然それら

の医療機関に、利用者が分散するということになりますので、収入の減少が生まれてくると思います。こうなると、国保病院がおかれている現状を考えると、事業規模を縮小していくことも考えていかなければ、国保病院の維持はできないのではないかと考えています。

また、先ほど宿泊施設についても話しをされていましたが、私の感覚では、今年個人客が多く来ていると思っておりますので、今年度、宿泊施設会計が単独で黒字経営にならないのであれば、これも事業の見直しが必要になってくるのではないかと、再検討すべきではないかと思っております。

上遠野町長の1期目は、特にコロナ禍ということもあり、難しい舵取りを迫られていたと思っておりますが、今後行われる国勢調査の結果において、交付税が減額していくことも間違いなく予想される場所です。

ここで、町長にもう一度お聞きしたいと思います。当初予算から、基金をあてにせざるを得ない今の予算案では、

非常に危険な状況ではないかと私は認識しております。当初予算では、相当の基金の取り崩しが組み込まれてます。

令和3年6月議会での町長の答弁では、財政運営が硬直しないように、健全財政に努めると述べられていましたが、現状を考えると、もうすでに硬直化しているのではないかと私は思います。今まで手をつけていかなかった聖域と言われる医療や福祉について、事業の見直しは必要であり、相当踏み込んだ改革が必要であると感じていますが、町長が先頭を切って、その改革を進める覚悟があるのかどうかお伺いします。

上遠野町長 財政的に申しますと、私が当初就任した頃、

財政調整基金が非常に少なく、自分自身も驚いた状況でした。その後、財政担当にも努力していたいただき残額を伸ばしたのですが、先ほど説明したように、毎年基金を取り崩し、また積み立ててという形で現状を維持しているというような状況です。最終的にどうするかということですが、歳入

思います。

で大幅な増額は見込めないとなれば、歳入を削るしかないということになります。それがどの事業なのかということになれば、事業の一つ一つに目的がありますので、私からは今は申し上げられません。ただ、ご指摘のとおり病院、ホテル、特養への繰出額が大きいのは事実で、病院については、利尻富士町の事務組合として運営している以上、利尻町だけではなく、両町で負担を分かち合うというのが必要なことであると思っております。現在、利尻富士町と負担金について協議しておりますが、実情は理解していただいていると思っております。ただ、早い時期に合意できなければという思いで努力していきたいと思っております。

また、病院組合自体で経営改革プランを作成していますので、そのプランに沿って、自助努力で病院経営を良い方向に持っていきたいというのが私の考え方もありますが、本当に厳しい経営改善を行っていかねばいけないという思いです。十分精査しながら進めていきたい

宿泊施設のホテル利尻については、施設自体が老朽化していますので、議員みなさんとも相談しながら修繕などを行っていますが、昨年、今年はかなりの金額をかけて修繕をしています。財源的には、ホテルの単独では行うことができないので、一般会計からの繰出金を捻出して行っているような状況ですが、私としては、ある程度の施設の修繕が終わったところで、お客さんも増えてくれば、ホテル単独で黒字化してほしいという思いもありますので、今後の経営状況も含めながら進めていきたいと思っております。

特養についても、働き方改革の影響による人材確保や、施設が老朽化しているということも合わせて非常に苦慮しており、一般会計からの繰出金で経営している状況で、人件費がかなりのウエイトを占めてきていますが、国の指針に従って対応している状況です。人員の確保についてなかなか難しいという状況もあり、余剰ではないのですが、余裕をもった人員を確保していく

ことも必要ですし、特養や病院もそうですが、厨房の人材が確保できないため、業者に委託して給食業務を行わざるを得ないという状況もあり、そういう部分についても、かなりの経費がかかっているというところもご理解をいただきたいです。

いずれにしても、財政状況が大変だという思いは常に思っているように思いますので、今後も十分注視しながら進めていきたいと思います。

佐藤議員 町長も触れていましたが、会計年度任用職員にも期末勤勉手当が支給されるようになったことなどで、人件費が相当増えてきているように見受けられます。働く方々が働きやすい環境でなければいけないことは間違いなくありますが、その上でお金がかかるというのは仕方ない面もあると思います。しかし、施設を統合するなど、どのように効率よく回していくのかという面もこれから考えていかなければいけないと思います。町長が先頭になって進めていかなければ、こういう

問題というのは進んでいかないと思いますが、しっかりと舵取りをお願いしたいと思います。また、町民に対しての説明も、十分に行きわたるようにお願いしたいと思います。

国の基準では、公債費比率というものがありませんが、他の自治体では財政非常事態というような独自の基準を作っているところもありますので、そのような町独自の基準があってもいいと思います。そういうルールを作って、町民にわかりやすく情報発信することも一つの方法としてあると思います。

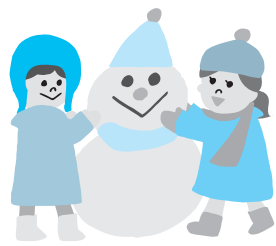
町民のニーズにタイムリーに対応するためには、余力ある財政運営というのは絶対必要であると思いますので、今のこの状況を本場にしのげなければ、今後厳しい、本場の財政の硬直化が進んでいくのではないかと思いますので、町の執行機関のトップとして、町長に是非先頭を切ってリーダーシップを発揮していただきたいと思っています。

上遠野町長 健全財政を維持

するということは、私どもに課せられた使命です。

人口も減り、中心街がシャッター街と化していますが、自分たちがこれから住んでいく利尻町をどうしていきたいのか、どうしなければいけないのかというところは、役場だけではなく、町の人も含めた中で計画していかなければならないという思いがあります。

ただ、本町の財政状況は昔からあまり良い状況ではなく、一時期は職員の昇給もストップして、昇給をしなかった時代もあります。それが影響して、利尻3町の中で本町の給料が一番低いという時代を私も経験しましたが、そういうことはあつてはならないという思いがありますので、私だけではなくて、職員一丸となつて、財政の安定化に努めていきたいと思います。



中川原 潔 議員

ウニ資源の増大と製品の安定供給について

中川原議員 近年のエゾバフンウニの漁獲量の減少によって、ウニの価格が高騰しており、一般消費者への流通はもとより、本町のふるさと納税の返礼品として人気の高いウニ製品への供給も限定的となり、せつかくウニを食べるために利尻を訪れた観光客にも安定した供給ができないなど、様々なところで本来得られたはずの利益や機会を逃してしまつた状況になっていきます。

種苗の飼育放流など、資源回復に努めてきましたが、これまで以上の資源回復施策が必要となり、平成6年に現在のウニ種苗生産施設の整備を行つております。

このようなか中で、ウニ資源を増やし製品を安定供給するために何らかの対策が必要であると思いますが、町長はどのように考えているのかお伺いいたします。

施設の供用開始に伴い、安定的にウニ種苗の生産、供給ができることで、資源の回復を図ってきましたが、近年の高海水温の影響により、餌資源である海藻類の減少など、ウニの生育環境が悪化し、稚ウニの生存率の低下なども見受けられ、利尻島周辺の海域では、エゾバフンウニの漁獲量は大幅に減少傾向となり、市場価格の高騰と供給の不安定化が進んでいる状況にあります。本町においても、その影響は深刻な課題となっており、特にウニは、本町の基幹産業である漁業を支える重要な水産資源であり、漁業者の収入減少にとどまらず、町の

上遠野町長 本町のウニ資源は、昭和62年の漁獲量80トンをピークに、年々減少の傾向をたどり、これに対処するためウニ種苗の人工採苗や購入

ふるさと納税返礼品におけるウニ製品の提供制限、さらには観光客の方々に新鮮なウニを提供できないといった課題にもつながっており、本町の水産業、それから観光業の両面において、深刻な影響を及ぼしています。

このような状況を受けて、従来の放流による資源回復施策だけでは十分な効果が得られなくなっており、環境変化に対応した新たな資源管理手法の導入が求められています。法の導入が求められていますが、決定的な対応策がないというのが現状であります。ウニ資源の持続的な増大と安定供給の実現には、天然資源の保全と人工的な生産体制の確立の両面からのアプローチが不可欠であると考えます。

現在も、ウニ二種苗生産施設において、ウニの生育環境や海洋環境の変化などを把握しながら、年間400万粒を生産し、町内の地先に340万粒を放流、60万粒を町外へ提供している他、沈着幼生の放流も行って資源回復を目指しています。その他、漁業者によるヒトデなどの外的駆除や漁場禁漁区の設定、ウニの餌

資源である昆布など海藻資源の枯渇が、稚ウニの成長や定着に影響を与えているため、磯焼け対策や藻場の再生事業として、雑海藻駆除事業や昆布母藻の設置、囲い礁などによる漁場の造成、またウニ殻や鉄鋼スラグなどの施肥材を使った藻場の再生など対策に取り組み予定であります。

今後は、ウニの安定供給に向けて将来的な選択肢として、ウニの畜養殖や陸上養殖など、新たなウニ供給手法の研究・導入を検討することや、漁協や加工業者、販売業者とも協力しながら、漁期以外の需要にも対応できるように、確立されたウニの冷凍保存技術の研究・導入も図っていく必要があると考えており、漁協、漁業者はもとより水産指導所や水産試験場などの研究機関の指導も仰ぎ、十分協議・協力しながら、早急に対策を進める必要があると考えています。



中川原議員 ウニ資源に関する

研究事例がいくつかありますのでお話ししたいと思います。ウニの養殖事業は北海道のみならず、東北でも行われようとしております。北三陸では再生養殖事業として、実入りの悪いウニを実入りがよく、味もよいものに変えるという取り組みをしております。どうということかと言います。養殖するウニに養殖用の飼料として開発した飼料を与えることで、ウニの再生養殖技術が確立したというもので、特許も取得しているとのこと。この開発されたウニの養殖飼料を使うと、短期間で実入りが改善するというので、その飼料の開発技術がすでに完成しており、商品化をしているそう。それが更に陸上養殖システムの開発につながり、ウニの美味しさを数値化して比較して、天然に近い再現に成功しているということです。

もう一つは、ウニ用の水槽構造で特許を取得している事例があります。宮城県の大学が、半循環型と閉鎖循環型の水槽を設置して、同時期にウニ

の陸上養殖実験を行っています。この実験では、水槽内の水温管理をするために、チタンヒータや冷却装置を使用しているとのこと。電気料もかなり多いことは想像できますが、ウニの価格は年末から年初にかけて高騰することが予測されることから、この養殖技術によって、その価格が高騰する時期に出荷できるよう、養殖開始時期や出荷時期を調整してウニの流通を考えているというものです。

その他に佐渡では、佐渡島の海洋深層水と利尻昆布で育てたウニの養殖が行われており、利尻から仕入れたウニの種苗と餌となる利尻昆布を、海洋深層水を利用して育ててウニの養殖をしているとのこと。北海道の水温と環境を再現し、道外で初の養殖に成功したということ。独自の鮮度保持技術によって、殻付きで全国に配送する予定という事例もありました。

そして道内では、道南や道東でも養殖を行っている事例があり、本来はウニが昆布を食べない時期でも、高水温の影響でウニの活性が収まらず、

生育前のコンブの芽を食べてしまう事例がみられ、このことが磯焼けの一つの要因ということ。それを踏まえて、産卵を終えたウニに給餌しながら育てていくことを始めているとのこと。養殖技術の方法は、その地域によって違いはありますが、場所によってはこの方法で昨年は8割くらいの成果がみられ、ある程度の手応えをつかんでいるところもあるようです。

このように、他の地域では、すでに将来に向けて様々な調査研究を進めている様子が見受けられますが、本町でもバフンウニの完全陸上養殖をめざすべきではないかと考えますが、町長はどのようにお考えですか。

上遠野町長

私も養殖技術や畜養技術の研究は、今後進めなければならぬというように思っています。天然物だけを採捕するという今の状況のままでは、今後どうなるかということ。私も予測できませんが、養殖事業に取り組みとなれば、漁業者や漁協などの関係者が一致して

取り組むことにならないと、行政だけが先行的にはじめても、なかなか進んで行かないのではないのかというように考えています。また、陸上養殖については、すでに利尻富士町で行っていますが、この水域で十分な成果が得られるのかということなどを含めて未知な部分が多く、関係機関と検討しなければならぬ事項も多くあると思っています。

さらに、道内での養殖事例についても、雨が降ると塩分濃度が下がることで死滅してしまうなどの課題があるようですが、利尻町でもこの事例を参考にして養殖に取り組むということになれば、天候状況に左右されるような状況ではならないと思うので、施設をどのように整備していくのがよいのかといったことなどについても、水産指導所や試験場などに検討をお願いして、現地の状況を把握しながら、良い方法を考えなければならぬと思っています。

現在、私もが行っているウニの種苗生産については、今のところは、種苗の数も確

保できていると思っていますが、海水温が上がっていますので、その影響がこれからどう出てくるのか注視する必要がありますし、高海水温に対応した種苗に改良することができるといえることについても、今後検討していく必要があると思っていますが、水温管理をして陸上飼育をするということになれば、かなりの電気料が必要となり、経費も莫大になると考えますので、果たして陸上の養殖施設で多くの費用をかけて生産したウニ資源を流通させた時に、価格でどのようになるのかということなども考えなければならぬと思っていますが、色々調べていただいた手法なども含めて、検討していく余地はあるのではないかと考えています。

ただ、養殖ウニも天然のウニと同じような味わいが得られるものでなければ、利尻のウニとして、今までの評価が落ちてしまうことにもなりかねないと思うので、養殖ウニと天然ウニと比べたときに、味や品質がどのように違ってくるのかということなども含

めて、十分に調査、研究をしていかなければならないと考えています。

いずれにしても、まずは、現状を踏まえて、漁協それから漁業者が率先して取り組んでいかなければならないものと思いますので、その取り組みに対して支援していきたいと思っています。

中川原議員 道内でウニの養殖事業が始まったきっかけは、水産技術普及指導所の調査試験によって、養殖は可能であるという結論を出したことによって取り組みが始められたということ、ウニの養殖技術は、ほぼ完成に近づいているはずだ。

我が町は、ウニ種苗センターを持つる強みを活かして、そこに新たな人材を投入し、産業の基盤であるウニの増産に向けての道筋をつけることが大事だと思っています。通年でウニを製品化して、観光客などの食に供する商品としての利尻産ウニのブランドを確固たるものにするので、天然物のウニ、それから養殖物のウニとして、養殖コンブと同

じように、ブランド価値を高め分けすることができると思っています。

このことに取り組むための財政支出も、収益率が高く、産業基盤の屋台骨となりうるウニの完全養殖を確立するために供するならば、若い漁業者や町民に対する将来へのメッセージとして、これに勝るものはないと考えますが、町長の考えを今一度お聞かせ願いたいと思います。

上遠野町長 仰るとおりであるとは思いますが、漁業者や漁協自らが考えて、様々なことを実践していくことが一番必要なことであると思いますので、それに対する支援、それから本町には施設もありませんので、その活用方法なども考えていきたいという思いであります。

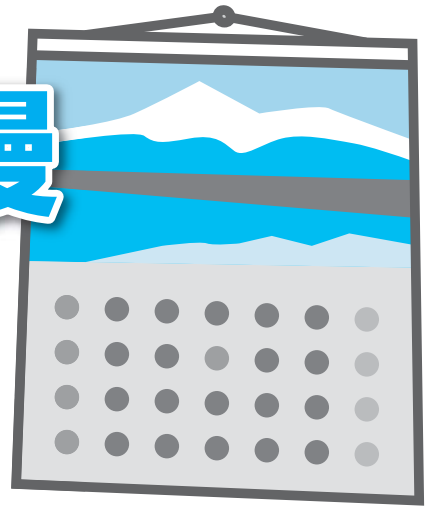
ただ、現状では、天然ウニのことだけを見ているわけにはいかないような状況になっていることは認識していますので、緊急性を持って、漁協と一緒に取組んでいければと思っています。

町政の主人公は町民の皆さんです!

議会を傍聴しましょう

定例町議会は年4回(3・6・9・12月)に開かれます。

2026年版 ふるさと島自慢 カレンダー ができました!!



今年も「地域みんなで利尻自慢！」をテーマに、「利尻のここが好き！」「ここが自慢！」そういった、とっておきの風景の写真を募集し、カレンダーを作りました。

利尻町内の各家庭には“カレンダー1部”を配布いたしますので、自宅に飾るのはもちろん、利尻を遠く離れて暮らす知人・友人に贈ってあげても喜ばれるのではないのでしょうか!!

これからも自慢の風景の写真を是非ご応募ください。

カレンダーを希望者に販売いたします

役場及び仙法志支所窓口での購入 1部 350円

郵送等による購入 1部 350円 + 送料

(5部まで送料150円、以降5部ごとに150円)

※例1：5冊購入 350円×5冊+送料150円=1,900円

※例2：6冊購入 350円×6冊+送料300円=2,400円

- 窓口での販売は平日のみ。8：30～17：15（12：00～13：00 販売不可）
- 郵送等による受取は、購入者宛にのみお送りします。
複数の相手先に役場から送付することはできませんので、ご注意ください。
- 詳細については、総務課企画振興係（0163-84-2345）までお問い合わせください。

※在庫は多めにございますが、無くなり次第終了とさせていただきます。



高齢者世帯の 除雪費用を助成します!

本年度も町内の高齢者世帯（65歳以上）に対して、住居の玄関前通路に係る除雪費用の一部を助成いたします。内容は下記のとおりですので申請・お問い合わせにつきましては、役場町民課福祉係へご連絡願います。

【申請できる方】

12月1日現在、利尻町に住所を有し現に居住している方で次に該当する世帯です。

- ・ 65歳以上の単身世帯及び夫婦世帯で、病弱等の身体・精神的な理由で除雪作業が困難な世帯であり、居住地区の自治会長及び民生委員が承認する世帯

※ただし、次の場合は申請できません。

- ・ 冬期間不在にしている場合
- ・ 自営業の方で店舗の除雪をしている場合
- ・ 町内に除雪の支援ができる方がいる場合（特別な事情がある場合を除きます）

【申請方法】

申請にあたりましては、上記をご確認のうえ、役場町民課福祉係へご連絡願います。なお、添付書類として除雪に要した金額のわかる領収証(写)が必要となります。令和8年4月1日までに、ご提出願います。

【対象となる除雪費】

- ・ 住居の玄関前通路等の除雪作業を、個人や業者等に委託して支払った額

【助成の決定】

申請書類等を審査し、決定の可否を通知いたします。

【助成額】

助成額は、12月から3月末までに除雪費用として請求された額の2分の1以内の額で、助成限度額は、町民税課税世帯は20,000円、町民税非課税世帯は40,000円とします。

除雪をしていただける方（個人・団体・事業者）を募集しています!

町では、高齢者等除雪費助成事業による除雪作業をしていただける方（除雪請負事業者）を募集しております。

除雪請負事業者に登録していただき、上記事業による除雪作業をしていただいた場合には、除雪料金は高齢者が事業者へ直接お支払いすることとなり、町は高齢者へ助成金をお支払いします。

なお、詳細につきましては下記までお問合せ願います。

【お問い合わせ先】

役場 町民課 福祉係 一般電話☎84-2345、IP電話☎84-9019

「起きてから」じゃ遅い! 「その時」のために備えておきたい!

■スマートフォンで防災対策

災害時には、天候や役場からの最新の情報（避難所開設状況、避難所生活に必要な情報）などをリアルタイムに入手することができます。

普段の生活にも役立つアプリを入れてみたらどうですか？

■おすすめのアプリ紹介

『知らせますケンⅡ』

『知らせますケンⅡ』はIP告知端末と同じ情報を電波さえあれば何処にいても見ることができて非常に便利なアプリです。

是非、登録をお願いします。

登録する際に不明な点があればご連絡下さい。職員が出向きサポートしますので、遠慮なくご連絡ください。

利尻町役場 防災情報室 ☎84-2345



iOS、Android
共通

『NHK ONEニュース・防災』

NHKの公式アプリで正確なニュース、災害・気象情報などを入手できます。



また、こちらのアプリは、2025年10月1日にリニューアルされました。以前のアプリ『NHKのニュース・防災アプリ』は利用できなくなりましたので、旧アプリをアップデートするか、新アプリをダウンロードしてご活用ください。



iOS



Android

『キキクル（危険度分布）』

「キキクル」はアプリではありませんが、気象庁が提供する大雨による災害リスクを地図で確認できる情報システムです。

大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報等が発表された際は「キキクル（危険度分布）」を確認ください。



URLのQRコードです。
読み込み後ブックマーク
登録してください。

脱水→尿路結石から 腎臓を守ろう!



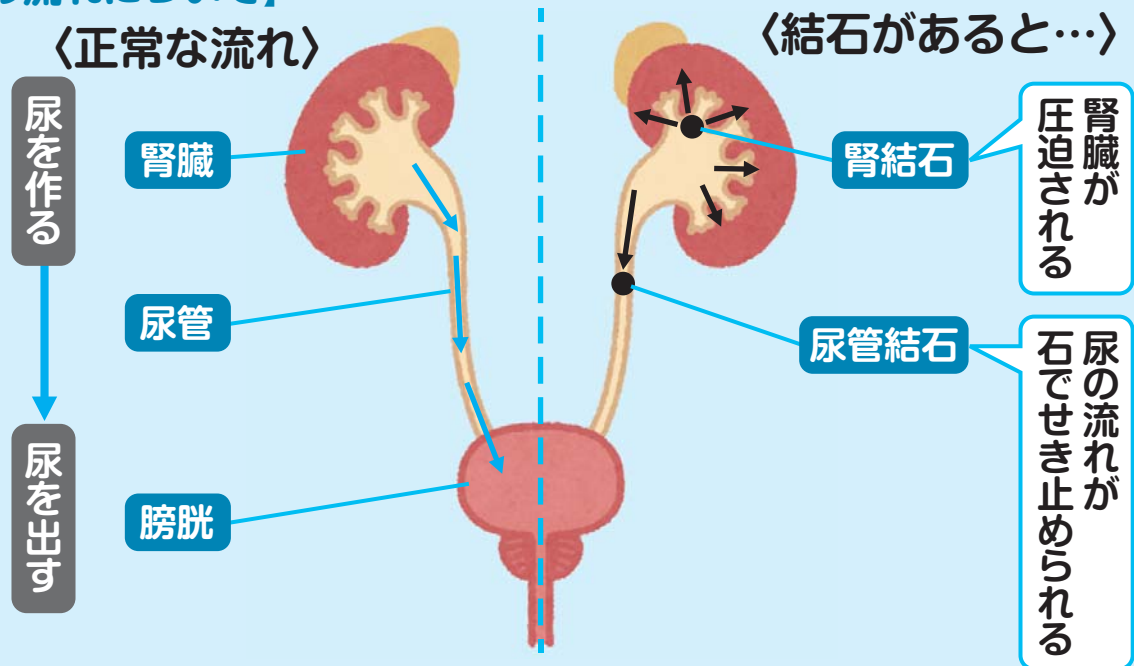
スマートライフりしりプロジェクト

「尿路結石」と腎臓

腎臓の機能が低下する原因に尿路結石が関わっている場合があります。尿路結石は、尿中のカルシウムや尿酸などの成分が結晶化して、腎臓、尿管、膀胱に石のような塊を形成する病気です。症状は、石の大きさや位置によって異なり、痛みや出血といった症状が出る方、中には自覚症状がない方もいます。尿路結石があると、腎臓が圧迫されたり、尿の流れがせき止められることで、腎臓を傷め、場合によっては感染・炎症を起こすことに繋がります。

長時間水分をとらない方、トイレの回数が少ない方に尿路結石ができやすいといわれています。利尻は、お仕事柄、尿路結石ができやすい方が多いとうかがえます。

【尿の流れについて】



尿路結石の予防・重症化を防ぐためには…

① 食事以外に1日1.5～2リットル以上の水分をとる。

※この「水分」とは水またはお茶を指し、甘みのある飲み物は含みません。また、カフェインを含むコーヒー、アルコールは逆に脱水になるため、とり方に注意です。

※飲水量の制限がある方は医師の指示に従ってください。

② 肉・魚を摂りすぎない。(目安は1食、手のひらの大きさ程度)

③ 定期的な健康診断を受ける。

検査項目：血液検査 (eGFR・尿酸)、尿検査 (尿蛋白・尿潜血)

(利尻町役場保健課保健指導係)

「加齢性難聴」をご存知ですか？

高齢者に生じる難聴のうち加齢以外に特別な原因がないものを「加齢性難聴」といいます

聞こえ方をチェックしてみましょう！

- 会話をしているときに聞き返す
- 後ろから呼びかけられると気づかないことがある
- 聞き間違いが多い
- 話し声が大きいと言われる
- 見えないところからの車の接近に気づかない
- 電子レンジや玄関のチャイムが聞こえない
- 耳鳴りがある

1～2個：実生活でお困りのことがあれば、耳鼻咽喉科を受診しましょう

3～4個：耳鼻咽喉科で相談してみましょう

5個以上：早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします

※一般社団法人 日本補聴器販売店協会ウェブサイトより引用



聞こえにくいままにしていると…

- ・会話や交流が減り閉じこもり気味になる
- ・耳からの刺激がなくなる

認知症・うつに繋がる危険があります

まずはかかりつけ医へ相談しましょう

耳が聞こえにくい方とのかかわりでは
周りの人たちの配慮も重要です！

- ゆっくり・はっきり区切って話す
- 身振り・手振りを交える・紙に書く
- 向かい合って口元が見えるように話す
- 音が聞こえやすい環境を整える（テレビを消す等）

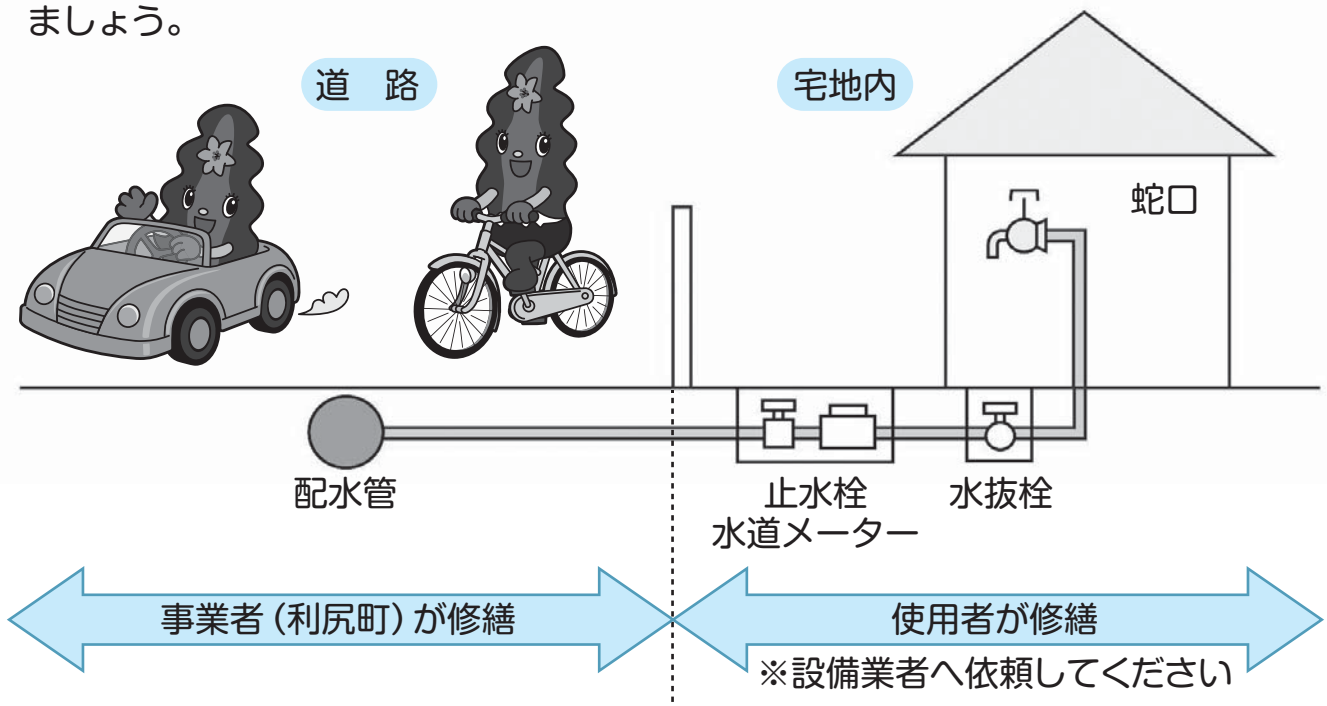
お問い合わせ先：利尻町地域包括支援センター 一般電話：84-2345

水道の漏水にご注意ください!

毎年、町内において凍結や給水管の老朽化により宅内の水漏れが数件発生しています。

発見が遅れると思わぬ出費になりますので、定期的に確認してください。

また、止水栓から住宅側は使用者の維持・管理区分です。漏水の早期発見に努めましょう。



◎自分でできる確認方法

- ①家中の給水栓(蛇口)をすべて閉め、水道メーターを確認します。
- ②表示部の小さい4桁の数字が増え続ければ、漏水の疑いがあります。
※メーターの数字に変化が無ければ正常です。

《漏水が考えられるサイン》

- 使用水量が徐々に増えている
- 使用水量が一気に増えた。
- 水の出が悪い。
- 敷地内に水がしみ出ている。

◎定期的な確認について

検針員による水道メーターの確認は2ヶ月に1回のため、漏水が発生していると多くの水が漏れてしまいます。漏水した水量も水道料金として徴収されますので、定期的な確認を心がけましょう。

◎漏水修理について

水抜栓の故障等、住宅内や敷地内で漏水が発生した場合は、給水装置工事事業者(設備業者)に修理を依頼してください。なお、修理代金は個人負担となります。
(主な設備業者: 株恵菱設備 ☎89-4620・有前田設備工業 ☎82-1003など)

量水器表示部



お正月等で、長期間不在の場合は注意しましょう！

水道管の凍結にご注意ください！



どんな時に凍結しやすいの？

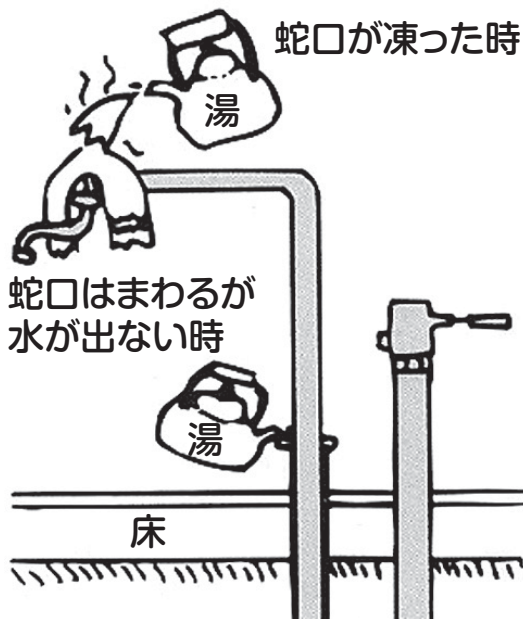
- 最高気温が0℃未満の真冬が続くとき
- 最低気温が-4℃以下になるとき

水道管の破裂を防ぐ凍結防止対策は？

- 水道管に保温材などの凍結防止帯を巻き付けておく
- 水の流れが止まらない程度に水を出しっぱなしにしておく
- 長期間不在になる場合は水落としをしておく
水を止めるときは蛇口を全開にして水を流しながら「水おとし」を完全に閉めてください。



簡単な凍結解氷法



凍結が解消しない場合や、水道管が破裂した場合は下記にご連絡ください。

建設課上下水道係
☎0163-84-2345

もしも凍結してしまったら…

◆ 蛇口が凍った時 ◆

タオルなどを巻きぬるま湯をゆっくりとかける。

【熱湯は絶対にダメ!!】

急激な温度変化による熱膨張が起き、水の体積が急激に増えることによって水道管や蛇口が破損する恐れがあります。40℃程のぬるま湯を使用するようにしましょう。

◆ 蛇口は回るが水が出ない時 ◆

凍結していると思われるパイプ部分にぬるま湯をゆっくりとかける。

◆ 解氷パイプが取り付けられている時 ◆

- ① キャップを上にあげる
- ② やかん等でお湯を注ぐ

利尻町公設塾

最近の活動紹介

利尻町公設塾は、町内の中高生に学習の場を提供し、基礎学力の向上や学習習慣づくりを支えるとともに、ふるさとについて学ぶ機会を通して、子どもたちが地元を多角的に理解できるようになることを目指しています。

その一環として、9月から小学4年生以上を対象に「小学生体験会」を始めました。

9月に3回、10月に2回開催し、これまでに5名の児童が参加してくれました。

体験会では、まず宿題に取り組み、わからないところを一つずつ解説することで基礎学力の定着を図っています。

小学生のうちから学習習慣を身につけることで、中学校・高校に進学した際に、より多くの選択肢を持つようになることを大切にしています。

希望があれば、塾側で用意した問題にも挑戦し、学力の底上げにもつながる内容です。

始まったばかりの取り組みですが、複数回来てくれる子や友達を誘ってくれる子もおり、少しずつ輪が広がっています。



小学生体験

開塾時間

- ・月曜～金曜 15:30～21:00
- ・日曜 13:00～18:00
(小学生体験会は11:00～13:00)

対象

利尻中学校・利尻高校の生徒

お問い合わせ

TEL 070-4410-3100 (代表 廣瀬)
公式LINEからもご連絡いただけます。



テスト前の中学生たち

令和8年 利尻町二十歳を祝う会のお知らせ

日時 令和8年1月3日(土) 午後2時
会場 利尻町交流促進施設 どんと



令和8年二十歳を祝う会の該当者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方が対象となります。

該当者には事前にお知らせをしておりますが、通知が届かなかった方や転出された方で出席を希望される方は、教育委員会社会教育係(☎84-2445)までご連絡ください。

利尻島国保中央病院からのお知らせ

未来の地域医療を担う?! 鴛泊小学校5年生が病院見学に来てくれました!

10月2日、鴛泊小学校5年生の皆さんが、総合的な授業の一環として当院に見学に来てくれました。子どもたちは、病院内の様々な部署を回り、どんな職種の方がどんな仕事をしているかを熱心に学んでいました。初めて見る医療機器や初めての体験に目を輝かせている子どもも多く、元気な質問が飛び交い、私たち職員にとっても活力をいただく時間となりました。見学後、校長先生からは「今回の体験で、子どもたちの医療の仕事への理解と関心が深まったようです。自分たちが生活する地域の福祉について考える、大変良いきっかけとなりました」というお言葉をいただきました。この見学が、子どもたちが将来を考える一つのきっかけとなれば大変嬉しいです。

未来の医療スタッフへ! 利尻高校生がインターンシップを体験

10月7日、将来医療職を目指している利尻高校1年生1名がインターンシップに来てくれました。この日は、エコー体験や訪問診療への同行、放射線画像の見学、先輩スタッフとの懇談など、幅広い業務を体験しました。高校生は終日、メモを取りながら真剣に話を聞き、質問もたくさんしてくれていました。その真摯な姿に、職員一同「素晴らしい!」と感心していました。目標に向かう道は決して楽ではないと思いますが、頑張してほしいと心から願っています。いつかこの病院で一緒に働ける日が来ることを職員一同楽しみにしています!



災害時に備えて! 鬼脇中学校で出前講座を実施

一日防災学校の授業の一環として、10月23日に鬼脇中学校で災害について出前講座を行いました。「もし利尻島で災害が発生したときに自分にできることは何か」、混乱した状況の中でお互いを助け合う「共助」について考えてもらいました。

体験を中心に授業を進め、災害時に治療の優先順位を決定するトリアージについて学び、患者移送体験ではケガ人役の先生を生徒5人で搬送したり、災害時に活躍するエコー機器を生徒自身が操作して体の中をみる体験をしました。当院の職員である妊婦のお腹の赤ちゃんが見えたときに目を輝かせていたのが印象的でした。今回の授業では、命の大切さや尊さを改めて考えさせられたのではないのでしょうか。この体験が、災害時の医療や、自分たちが地域の一員としてできることについて考える良いきっかけになれば幸いです。



利尻島での1か月の研修を終えて

研修医 寺澤 初音

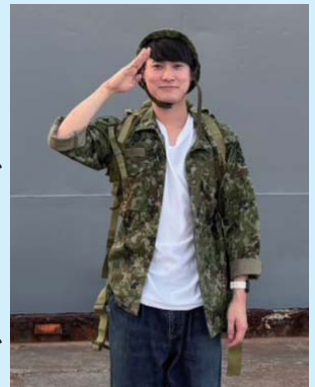
私は1か月間、地域医療研修をさせていただきました。普段勤務している病院では救急外来しかしておらず、科が決まっていない初診の外来は初めてでした。救急外来としての対応だけでは全く足りず、耳鼻科や整形外科、皮膚科など国家試験ぶりに思い出すような場面も多々あり、勉強と知識が足りていないと思う日々でした。またエコーでできることの幅の広さにも驚かされました。自分の志望科である麻酔科で血管や神経を見る機会が多かったのですが、筋肉や皮下組織にこだわってエコーを当てていなかったことに気づかされ反省しました。普段すぐに他科コンサルトしたり緊急性が低ければ帰宅していただいていたと思いますが、地域医療に携わる一人として、もっと幅広い知識を持てるよう努力しなければいけないと痛感しました。フリーの時間は島内のお店を巡ったり、登山をしたりして利尻島を楽しむことができました。利尻で過ごした1か月は私にとってとても貴重な経験になりました。1か月本当にありがとうございました。



利尻島での1か月の研修を終えて

研修医 難波 奏一郎

この度は、地域研修として受け入れいただきましたこと、心よりお礼を申し上げます。1か月という限られた期間ではありましたが、普段所属している都市部の病院では得られない貴重な経験を積むことが出来ました。交通や医療資源の制限という課題が常に付きまとうなか、島民の方々の健康を支える島ならではの医療の在り方は、柔軟な対応力や迅速な判断力、多職種連携の重要性を強く感じさせるものでありました。業務としては定期的な外来から救急対応まで多くの経験を積ませていただきましたが、診断に迷う場面や対応に悩む場面が様々あり、自身一人では力及ばない現状を痛感いたしました。そういった症例ひとつひとつが自身の糧となるよう、自分に足りないものを継続して学んでいきたいです。今回の研修を通じて得られた経験と課題の双方を今後の自身の診療に生かしていきたいと思えます。改めまして、1か月間大変お世話になりました。



利尻島国保中央病院では大腸CTを行っています

大腸がん罹患する方は、増加傾向にあります。

大腸CTは、体への負担が内視鏡検査に比べ少なく、5mm程度の病変から検出可能です。

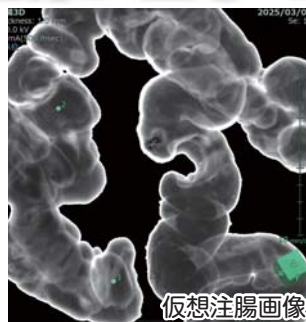
当院医師と外部の専門医による読影を行っています。

検査時間も15分程度です。

大腸内視鏡が苦手な方は、大腸CTを!



仮想内視鏡画像



仮想注腸画像

検査費用(検査食込)
・自費(人間ドック)の場合
30,000円

*CT検査希望の方は、診察時や電話でお気軽にご相談ください。

利尻島国保中央病院
☎0163-84-2626

誰でもできる初期救急

本年度より利尻国保中央病院に赴任し、内科診療を担当しております福井将貴と申します。私は自治医科大学の出身で、学生時代に2度、利尻島で研修の機会をいただきました。その際、島の美しい自然と温かい地域の皆さまに触れ、いつかこの地で働きたいと強く思うようになりました。それから約8年が経ち、この春、念願叶って再び利尻の地に戻ることができました。こうして地域の医療に携わる機会をいただけたことに心から感謝しております。

当初は総合診療の道を進もうと考えていましたが、研修医時代に北海道大学病院の救急科を見学したことがきっかけで、救急・集中治療に興味を持ちました。離島で医療を行ううえでは、重症患者の初期対応が非常に重要になると感じ、重症感染症、外傷、熱傷、心肺停止などさまざまな緊急疾患への対応を学ぶことができました。昨年度は市立札幌病院の救命救急センターに勤務し、救急科専門医を取得いたしました。万が一島内で重症患者さんが発生した際には、これまでの経験を活かし、少しでも皆さまのお力になれるよう努めてまいります。

さて、皆さんはもし目の前で人が倒れていたら、どのように対応しますか。突然の場面では、どうしたら良いのかわからなくなってしまいかもしれません。まずは声をかけ、肩に軽く触れて反応があるか確認してみてください。自分で目を開けて話せる状態であれば問題ありませんが、呼びかけても反応が乏しかったり、まったく反応がない場合は注意が必要です。特に全く反応がなく目を開けない状態であれば、命に関わる病気が隠れている可能性があります。呼吸と脈が確認できなければ心肺停止の可能性がありますので、すぐに心臓マッサージを開始し、119番通報とAEDの準備をお願いします。呼吸がある場合でも、口の中に異物がないか確認し、嘔吐の恐れがあれば横向きに寝かせて救急車の到着を待ちましょう。これらができれば、初期対応としては十分です。



昨年、札幌市内の地下鉄で意識を失った方に偶然遭遇したことがありました。気道を確認しようと口元を見たところ口の中が青く、ポケットには大量の睡眠薬の袋が入っていたということがありました。意識障害の原因は非常に多様であり、状況によって専門的な対応が求められます。しかしその一方で、現場に居合わせた方の初期対応が、その後の回復に大きく影響することも少なくありません。

利尻島の皆さまが安心して暮らせるよう、医療者として全力で努めてまいります。不慣れな点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

年末年始の休診のお知らせ

利尻島国保中央病院は、12月30日(火)～1月4日(日)まで休診となります。年末年始にお薬が不足することがないように余裕をもって受診をお願いします。



12月			1月				
29日(月)	30日(火)	31日(水)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)
通常診療	休診	休診	休診	休診	休診	休診	通常診療

インスタ始めました!

利尻島国保中央病院はInstagramの公式アカウントを開設しました。当院の情報や島の魅力を発信していきますので、フォローやいいね!をお願いします。

[Instagramアカウント] @byouin_rishiri2626

[URL] https://www.instagram.com/byouin_rishiri2626/



BYOUIN_RISHIRI2626

きた・北海道DMO



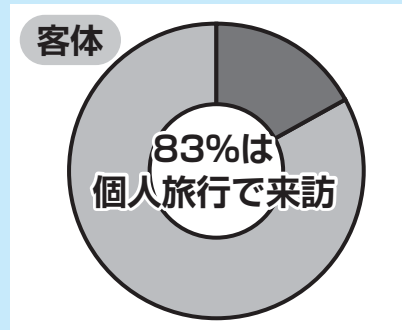
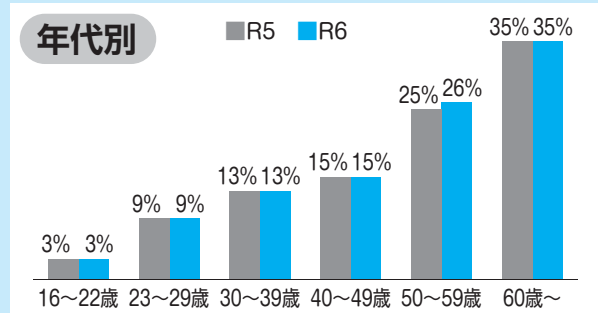
地域観光振興の舵取り役：北宗谷地域の観光客及び消費増加により、経済の活性化を目指す組織です。

令和6年度のきた・北海道DMOの事業のご紹介をいたします。

来訪者アンケート調査

令和4年度から令和6年度まで年間を通じて来訪者アンケートを行い、来訪者のニーズや課題が見えてきたことで、どんなことを望んでいるのか、困っているのかを調べて、解決に向けて関係者で努力しています。

- ・来訪客は旅慣れた50～60代の個人旅行者が中心でリピート率も高い。
- ・来訪客はInstagramやFacebook等で情報収集し、旅行予約はWEB中心に移行され、雑誌や旅行代理店の利用は減少傾向にあります。



情報発信強化事業

稚内・利尻・礼文の魅力あふれる観光動画を制作しました。 **YouTube**



受入環境整備事業（二次交通対策）

令和6年は礼文島エリアを中心に外国語対応や路線バスの整備を進めました。令和7年度は利尻島エリアの整備を始めています。



稚内・利尻・礼文を連携したホームページの運用

Instagram・Facebookの強化等により、情報発信力を高めました。HPの利用者数は順調に上昇しています。

令和5年度：243,932件 令和6年度：384,904件 **前年比157.8%**

その他令和6年度事業：先進地勉強会／アンケートデータ分析事業／海外（台湾）プロモーション／持続可能な観光に関する研修

住民満足度調査

毎年継続して実施しています住民の皆様の観光に対するご意見を賜りたく、ご協力をお願いいたします。

【回答締切】2026年2月末まで

回答用URL



★アンケートにご協力いただいた方から抽選で20名様に「稚内ブランド商品」、「島の海産物詰め合わせセット」いずれかをプレゼントいたします。



国民の森林・国有林

利尻森林事務所 鴛泊治山事業所たより



令和7年12月

深内沢治山工事の完成報告

今年度実施の治山工事2件のうち、深内沢治山工事が完成しました。完成した治山ダムは写真のとおりです。(写真1)

治山ダムの設置により、土砂の急激な流出を抑えられ、下流域の湾内覆道や湾内地区周辺の漁場への被害を減少させます。

また、崩壊地に植生シートを敷き、山腹の緑化を行いました。(写真2)

今回、治山工事を実施した場所は工事箇所位置図の箇所になります。

他の1件の工事は、現在も継続して作業中です。



写真1：治山ダム完成

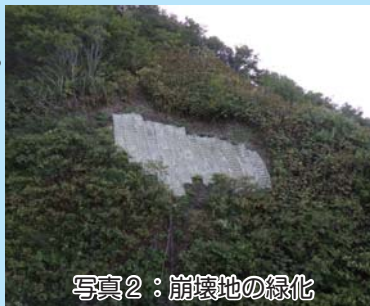
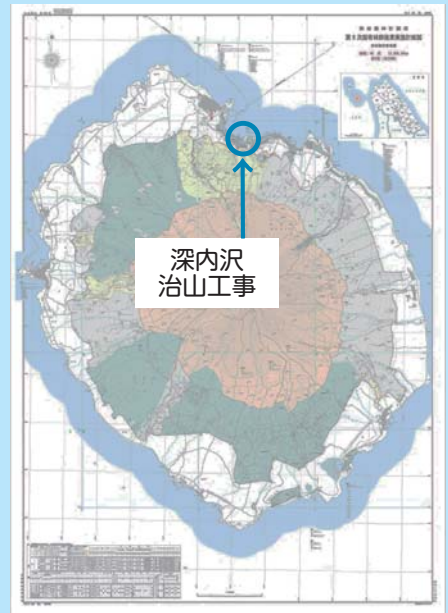


写真2：崩壊地の緑化



深内沢
治山工事

工事箇所位置図

令和7年度 お魚を増やす植樹

令和7年10月23日、利尻富士町鬼脇地区の国有林において、利尻漁業協同組合鬼脇支所女性部が主催する「お魚を増やす植樹」が開催されました。

今年は42名もの方にご参加いただき、鬼脇支所女性部長、利尻富士町副町長、宗谷森林管理署長の挨拶の後に、エゾヤマザクラ90本、ミズナラ90本、ハルニレ90本の計270本を、カミネッコンを用いて2～3本ごとにまとめて植樹しました。

今後もこのような活動を通して、利尻島の森林をより豊かにしていきたいと考えています。



植樹前の挨拶

境界巡視を実施しています

利尻森林事務所では国有林と民有地の境をパトロールする、境界巡視を行っています。一部の地区では住宅地裏の国有林を通行することもありますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

林野庁 北海道森林管理局

発行：宗谷森林管理署 利尻森林事務所・鴛泊治山事業所
〒097-0101
北海道利尻郡利尻富士町鴛泊字栄町195-1
TEL & FAX 0163-82-1529



わが家の愛

りしりんが
わが家の愛どるを
紹介するよ♪



今回は、1人のお友達
を紹介するよ!



しん はま み つ き
新濱美月ちゃん(4さい)

父：直樹、母：梢

お友達と遊ぶことが大好き。
元気いっぱいのみっつです。
最近はメイクをしてみたり、
自分なりの独特なおしゃれごっこを
楽しんでます。

いろんなことに興味を持って、
素直にすくすくと育ってね!



【お父さん・お母さんから】

冬場のスクールバス乗降時の 注意喚起について〈お願い〉

スクールバスの乗降時やスクールバスの乗降場所での待機中に、他の車両との接触事故や、児童生徒自身の飛び出しにより発生する事故が全国的に増えています。

これから利尻でも冬場にかけて視界不良や除雪で積み上がった雪で視界が遮られ、予期せぬ事故が発生する可能性が高まりますので、ご注意いただくとともに、黄色いスクールバスのステッカーが貼られたバスが停車していた場合は、危険予測運転「かもしれない運転」をお願い致します。

利尻町教育委員会



「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

消防だより

NO.467

秋の火災予防運動に伴う火災予防啓発活動を実施!!



10/15 防火車両パレード



10/21 少年消防クラブ 防火夜回り

利尻町消防団活性化事業実施!!



利尻町消防団では、11月2日（日）に消防署車庫にて、団長以下31名が参加し活性化事業を行いました。訓練礼式や各種機械器具の取り扱い訓練など、災害時に必要な知識・技術を学びました。

利尻町防火管理協会・利尻町女性防火クラブ合同防火教室実施!!



10月25日（土）に防火教室を実施しました。水消火器による消火体験や火災発生時の煙体験を行い有事の際の対応方法を学びました。



